

授業科目(ナンバリング)	日本文化論(CA219)			担当教員	佐野 香織・山内 美穂		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>観光の研究にとって、さまざまな国や地域の異なる文化についての理解は不可欠である。しかし、そこに生を享けた、あるいは今そこで生きている、日本の文化に関する理解なくしては、異文化に対するまなざしは開けない。日本文化固有の魅力、あるいはまた他の文化と共通する側面や限界など、さまざまな角度から日本文化の多様で独自のあり方に迫っていくとき、日本文化のなかで生きる自分自身のアイデンティティも確認されてくることになるであろう。</p> <p>この授業では、歴史、言語、文化などの具体的な事例を通して、日本文化の諸相について論じる。</p>							①②④⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	日本文化と他の文化を比較しその特徴を説明することができる。				レポート	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	日本文化の具体的事例を収集し、分析することができる。				課題	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題で60%、レポート2回（各教員の最終講義にそれぞれ1回予定している）で40%を評価する。 課題に関しては授業中または個別にフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>2名の教員によるオムニバス形式の講義をおこなう。各教員の専門分野に関する方法論と事例にもとづき、日本文化の魅力と課題を多角的に考察する。授業の中では各課のテーマについて考えをまとめたり、実際に文化を体験してみるなどの課題を課す。また数回は外部の実務家による講義も予定している。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：塩野米松『失われた手仕事の思想』中公文庫 松岡正剛『日本文化の核心』講談社現代新書</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>日本文化を理解することは異文化理解の第一歩であり、観光学を学ぶ上でも不可欠の課題である。教員の提示するそれぞれの視点と方法論、さらには取り上げる事例を通して、日本文化の多様で独自のあり方に触れて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 導入	日本文化論の代表的なアプローチを紹介するとともに、講義全体の概要について説明する。(佐野)	予習:「日本文化」に関する 具体事例を挙げる。 復習:事例を復習する。
2	生活の中に根づく日本文化 ① 精神性	日本人のメンタリティに焦点をあてた文献を概観し、昔話の側面から分析、理解を深める。(佐野)	予習:知っている昔話のスト ーリーを話せるようにしてく る。 復習:昔話を分析する。
3	生活の中に根づく日本文化 ② 面白さ	「面白さ」と音声言語に関する最近の研究を踏まえた上で、日本の漫才を取りあげ、実演・実践を通して学ぶ。(ゲストスピーカー)	予習:大衆芸能について調 べる 復習:漫才をつくり報告する
4	生活の中に根づく日本文化 ③ 文字表現	日本語文字表記に関する歴史、研究に触れた後、「書」の実演、実践を通して「書く」文化について考察する(ゲストスピーカー・佐野)	予習:様々な文字表現につ いて調べる 復習:実践をふりかえる。
5	生活の中に根づく日本文化 ④ 食	日本の食文化の歴史を概観し、発酵文化に注目しながら、食文化に対する理解を深める。(佐野)	予習:発酵の事例を挙げる。 復習:身近な発酵食品につ いて調べ報告する。
6	生活の中に根づく日本文化 ⑤ 禅	仏教と日本文化に関する解説をするとともに、禅の思想と実践について理解を深める。(佐野)	予習:仏教や禅について説 明できるようにしてくる。 復習:実践をふりかえる
7	生活の中に根づく日本文化 ⑥神社と祭り	神道、神社と日本文化に関する解説をするとともに、祭りについて理解を深める。(ゲストスピーカー・佐野)	予習:「神社」について調べ る。 復習:授業内でとりあげられ た内容について報告する。
8	わたしたちの中の日本文化 前半総まとめ	これまでの講義における「日本文化」を概観し、個人にとっての「日本文化」を考える。(佐野)	予習:これまで授業でとり あげた内容を復習する 復習:「わたしと日本文化」 のテーマでレポート作成。
9	外来語と日本文化の変遷	西洋文化の摂取に急いだ明治期の日本文化の特徴を外来語や和製漢語から解説するとともに、現代の外来語の氾濫についても考える。(山内)	予習:外来語と和製漢語を 抽出しておく。 復習課題:外来語の氾濫に ついて課題をする。
10	おもてなし	日本旅館の経営者または観光業従事者の話を通じて、日本の「おもてなし文化」について考える。(ゲストスピーカー・実務家)(山内)	予習:日本独特のサービス について調べてくる。 復習課題:講話について考 えてまとめる。
11	俳句と川柳と日本社会	日本の定型詩である俳句と川柳について解説。その違いを知り、現代の俳句文化と川柳文化について理解を深める。(山内)	予習:有名な俳句を調べて くる。 復習課題:俳句と川柳を詠 んで提出する。
12	日本の話芸「落語」	日本の代表的な話芸・落語の歴史を解説し、現在の落語文化を紹介。落語の「オチ」や大喜利などを通して、日本人の「ことば」の楽しみ方を考察する。(ゲストスピーカー・実務家)	予習:落語について調べて くる。 復習課題:落語を聞いて感 じたことをレポート。
13	クールジャパンと 日本のソフトパワー	外国人の人にとって本当のクールジャパンとは何なのだろうか。日本政府のクールジャパン戦略にも触れ、議論・考察する。(山内)	予習:クールジャパンとは 何か調べてくる。 復習課題:クールジャパン を探し紹介する。
14	日本のものづくり文化	これからのインバウンド観光の潜在力を持つ「日本のものづくり」文化について、解説する。(山内)	予習:日本の「ものづくり」 について調べる。 復習課題:日本のクラフト ツーリズムの事例調査
15	まとめ& 日本語の価値	これまでの講義の中で扱ったトピックについて振り返るとともに、日本語を文化として見た時の「日本語の価値」について解説する。(山内)	予習:各トピックの復習。 復習:期末レポート「日本 文化の特徴」作成